

グローバル化時代の企業リスクresume

(株) ティージー情報ネットワーク

山崎 由喜

0 企業riskとは

1 global化

- ・borderlessの時代→国際問題の日常化。

ヒト・モノ・カネ +

- ・情報化がborderlessを促進

(1) ヒトのborderless

少子高齢化

(2) モノのborderless

日本は資源が無い。

(3) 人類は地球にとって癌か？

Lobotomy（前部前頭葉切截術）と人

工業国の生産と消費を貫いているのが、一種の成長の強制

(4) カネの性質

①金利の不可解性

②お金は老化しない。

③お金のScaling性による仮想性

- ・情報との相性がよい。 Web2.0(Second Life)

2 ハダカの王様か？

(0) Bretton Woods 体制 (1 9 4 5 ～ 1 9 7 1)

ドルは基軸通貨

(1) ニクソンショック 1971年8月15日 ドルと金の交換停止

(2) プラザ合意 1985年9月22日

● 1 9 9 5 年「強いドルは国益」＝帝国宣言 (ルービン財務長官)

(3) アジア通貨危機 (the Asian Financial Crisis) 1997年7月

(4) サブプライム問題 = ドル本位制終わりの始まり

3 「新しい中世」の時代へ

(1) 1 9 9 0 年代～：国民国家の終焉？

① 国家の分裂

② 民族問題の再燃

③ 国家の統合・拡大

④ 国家なのか

沿ドニエストル共和国 (Transdnier)

(2) 現代国民国家の多様性 (国家とは何か？)

① 国民統合されていない国家

② 民族に関わらず国民統合されている国家

③ 承認されていない国家

④ 国家を持たない民族

(3) 1 9 9 0 年代～：何故国家分裂したのか？

① 東西冷戦の終焉

② Nationalismの覚醒 民族、宗教

③ 国家建設の失敗 Africa諸国

④ 情報通信の技術革新

(4) 1 9 9 0 年代～：何故国家統合したのか？

① 経済のグローバル化

② I T 革命

③ 国際機関の制度化

(5) 1990年代～：安全保障分野でも国家の限界？

①環境問題のglobal化

②内乱状態が続く国家

③国際的terrorの頻発、大規模化、国際問題化

9. 11： 国家 v.s. terroristの戦争？

④核兵器・軍事技術の拡散

(6) 21世紀の世界システム：新しい中世

①国家の地域統合の可能性

②国家の分裂

③私的な国際的暴力の復活④国境横断的な構築（多国籍企業や世銀など）

④世界的技術の統一化

4 日本というHolon Systemはhomeostaticに成長していけるか。

Holon（全体子）＝全体 ＋ 部分

(1) 日本に係わる内外の環境はChaoticになった。

①バブル崩壊

②人権費の削減

③派遣社員化・終身雇用性の崩壊（熟練工がいなくなる。）

④ヒト・モノ・カネのGlobal化

日本のIdentity・meme（文化的遺伝子）はどうなるか。

⑤ 温暖化によるCO²の規制（京都議定書の達成）→ 25%？

⑥国債＞郵便貯金になるか。

でも、「いざなぎ越え」

(2) 不祥事への法規制化

①Enron Corp. の不正

②Worldcomの粉飾決算

③西武鉄道 有価証券報告書虚偽記載経営者不正の事実

④カネボウ粉飾決算事件

(3) 内部統制による不正防止へ

(4)内部統制の限界

(5) 組織事故と不祥事

5 Risk 対応

(1) Risk Management (COSO ERM等)

(2)Contingency Plan (非常事態計画)

→ BCP (Business Continuity Plan 事業継続計画)

(内閣府「事業継続ガイドライン」、NFPA1600等)

事業継続力：事業継続を実現する力Resilience

(3)CSR (Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任)の活用

・CSRの3つのKey Word

①持続的成長

②stakeholderとの対話

③triple bottom line

triple bottom line → 4つのB
Stakeholder

(4)Scenario Simulation

(5)Impact 分析

6 今後の「この国のかたち」

輸出立国 v.s. 金融立国

→

以 上

参考

1 Risk とは

(研究社辞書より)

(危険・不利などを受けるかもしれない) 危険、恐れ

- 1) [障害 {しょうがい} や損害 {そんがい} の] 危険 (性) {きけん (せい)}、恐れ
- 2) 危険 {きけん} 物 [要素 {ようそ}・要因 {よういん}]
- 3) 《保険》リスク◆事故によって保険会社に損失が発生する可能性またはその損失額。
- 4) 《金融》リスク◆投資した資金が回収できなくなる可能性。
- 5) 《工学》リスク◆システム障害の可能性。

Risicare : to run into danger << to navigate among cliffs

2 危険の英語での違い

(研究社辞書より)

- 1) danger: 程度のいかんを問わず危険の意味を表す最も一般的な語
- 2) risk: 自己の責任において冒す危険
- 3) peril: 差し迫った大きな避けがたい危険
- 4) hazard: 偶然に左右される、または人間の力では避けることのできない危険
- 5) jeopardy: 失敗・損失・障害などの危険にさらされている状態

3 事故からrisk 評価へ

- 1) ジェット旅客機コメットの空中分解 1954年01月10日
- 2) スリーマイル島原子力発電所事故 1979年3月28日
- 3) 各種化学工場事故

・「リスク」という言葉は、伊太利亜語のrisicare という言葉に由来する。この言葉は「勇気を持って試みる。」という意味を持っている。この観点からすると、リスクは運命というよりは選択を意味する。われわれが勇気を持ってとる行動は、われわれがどれほど自由に選択を行えるかに依存しており、それはリスクの物語のすべてである。

ピーター・バーンスタイン「リスクー神々への反逆」(青山護訳) 日本経済新聞出版社1998年08月発行

4 Riskの定義: 人間の生命や経済活動にとって、望ましくない事象の発生の不確実さ

Risk = Damage × Frequency

Hazard exposure(曝露)

Consequence Probability

損害 発生確率 (頻度)

・ Individual Risk = Damage × Frequency (平均値)

・ Societal Risk = Damage² × Frequency

・ // ³ (moment)

以 上